証券コード：8132（東証プライム）
2026年11月11日

世界に誇れる地元をツクる

2027年3月期 中間期

決算説明資料

シナネンホールディングス

2027年3月期 中間期 ハイライト

➤中間決算： **増収増益**
エネルギー事業（石油・ガス）の大幅増益及びメンテナンス事業の増益が
モビリティ事業の減益を上回り、全体として増益。

➤通期業績予想： **通期業績予想不変**
上期業績の進捗は順調。通期業績予想の達成を見込む。

➤株主還元： **中間配当を開始、年間配当予想を増額、自己株式の取得により株主還元を強化**
1株当たり中間配当70円を実施。年間配当予想を140円へ増額。
自己株式の取得・消却を実施し、資本効率と1株当たり価値の向上を推進。

© 2026 Shinanen Holdings Co., ltd.

01

2027年3月期 中間期　決算概要

© 2026 Shinanen Holdings Co., ltd.

01 2027年3月期 中間期 業績概要

（単位：億円）	26/3期 中間 実績	27/3期 中間 実績	YoY （額）
売上高	1,204	1,644	+440
売上総利益	170	176	+5
販売費及び一般管理費	163	163	▲0
営業利益	6	13	+6
営業外収益	4	5	+0
営業外費用	1	0	▲0
経常利益	10	17	+7
特別利益	0	4	+3
特別損失	0	1	+0
税引前利益	10	20	+10
親会社株主に帰属する **中間期純利益**	4	12	+8

売上高：エネルギー事業を中心に増収

上期は、電力のスポット取引が増加し、売上高は前年同期比440億円増加

営業利益：エネルギー・メンテナンス事業が増益を牽引

石油・ガスの総利益増加およびメンテナンス事業の増益が、天候不良等によるモビリティ事業の減益を吸収

特別利益：シナネンファシリティーズ㈱の株式譲渡益を計上

事業ポートフォリオ見直しに伴う特別利益4億円を計上

© 2026 Shinanen Holdings Co., ltd.

01 2027年3月期 中間期 セグメント別売上・営業利益概況

（単位：百万円）

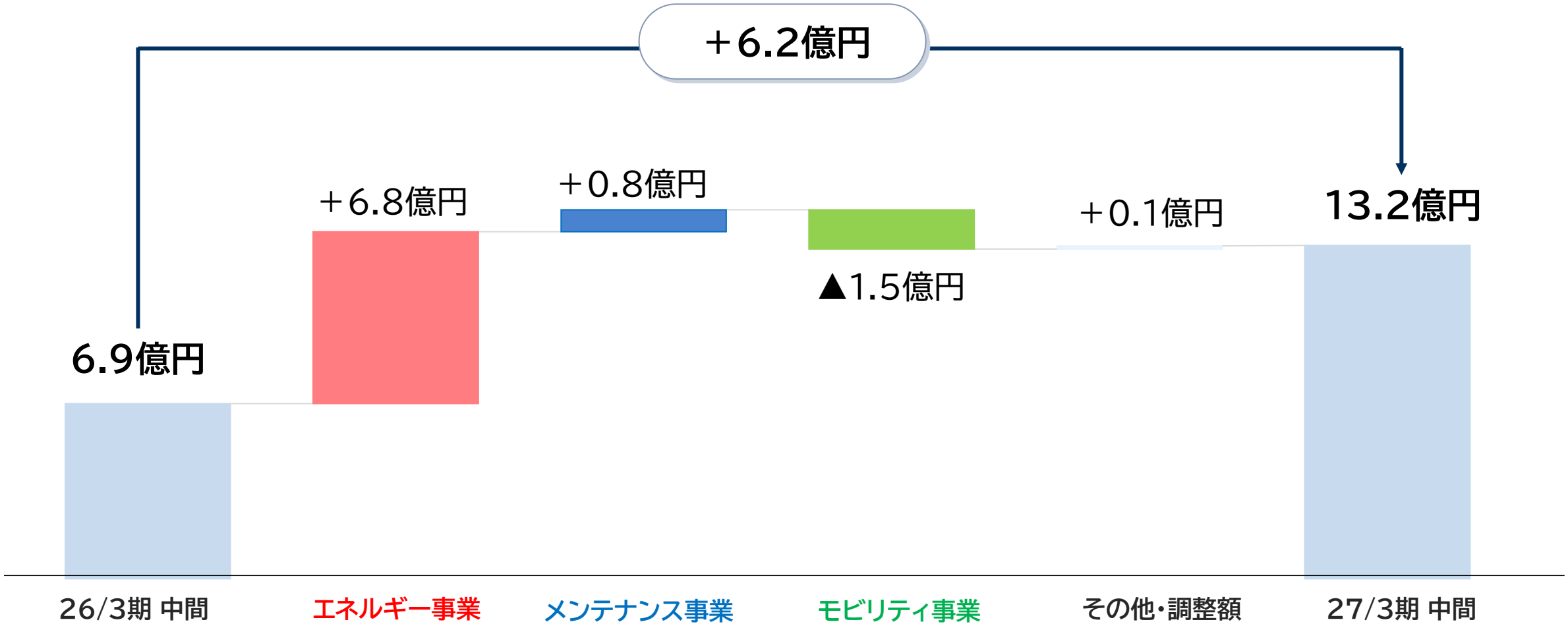
売上高	26/3期 中間 実績	27/3期 中間 実績	YoY （額）	事業別内訳
エネルギー事業	109,722	153,627	+43,905	石油：減収 ／ ガス：増収 ／ 電力：増収 ／ システム：増収
メンテナンス事業	5,093	5,956	+863	居住用建物メンテナンス：増収 ／ ビルメンテナンス：増収 ホームファシリティ：増収 ／ 不動産：減収
モビリティ事業	3,662	3,711	+49	自転車：増収 ／ シェアサイクル：減収
その他	1,943	1,126	▲816	シナネンエコワーク㈱、シナネンファシリティーズ㈱売却
調整額	–	–	–	
合計	120,421	164,422	+44,001	

営業利益	26/3期 中間 実績	27/3期 中間 実績	YoY （額）	事業別内訳
エネルギー事業	280	963	+683	石油：増益 ／ ガス：増益 ／ 電力：減益 ／ システム：増益
メンテナンス事業	124	212	+87	居住用建物メンテナンス：増益 ／ ビルメンテナンス：増益 ホームファシリティ：増益 ／ 不動産：減益
モビリティ事業	221	64	▲156	自転車：減益 ／ シェアサイクル：減益
その他	144	235	+90	
調整額	▲75	▲152	▲77	
合計	695	1,323	+628	

© 2026 Shinanen Holdings Co., ltd.

01 2027年3月期 中間期 営業損益：増減要因

エネルギー事業の大幅増益が全社業績を牽引



シナネンホールディングス © 2026 Shinanen Holdings Co., ltd.

採算重視の販売戦略により、販売数量の減少を吸収して石油・ガスが増益を牽引
電力は相対取引の一時的な拡大により増収となる一方、利幅は縮小

上期実績

売上高	1,536.2億円	前年同期比 +439.0億円
営業利益	9.6億円	前年同期比 +6.8億円

エネルギー事業全体の増減

石油：減収・増益　　ガス：増収・増益　　電力：増収・減益　　システム：増収・増益

石油 ： 減収・増益

商品	販売数量	販売単価	総利益単価	総利益
灯油	減少	上昇↑	上昇↑	増加
軽油	減少	上昇↑	上昇↑	増加
重油	減少	上昇↑	上昇↑	増加

主な説明

数量ではなく、採算確保を重視した販売戦略を継続。
販売数量は減少したものの、販売単価・総利益単価の上昇により、総利益は前年同期を上回る。

© 2026 Shinanen Holdings Co., ltd.

ガス ： 増収・増益

販売区分	数量	販売単価	総利益単価	総利益	主な説明
小売	微減	上昇↑	低下↓	減少	販売数量は概ね前年並み。価格の改定により販売単価は上昇した一方、総利益単価の低下により総利益は前年同期を下回る。
卸	減少	上昇↑	上昇↑	増加	販売数量は減少した一方、仕入・在庫のコントロールにより原価増を抑えられたため総利益単価が上昇し、総利益は前年同期を上回る。

電力 ： 増収・減益

販売区分	数量	販売単価	総利益単価	総利益	主な説明
小売	減少	上昇↑	低下↓	減少	夏場の気温が低かったことにより販売数量が減少したことに加え、市場価格の競争激化により利幅が縮小。
卸	大幅増加	上昇↑	低下↓	減少	相対取引等の拡大により取扱数量・売上高が大幅に増加した一方、利益貢献は限定的。

システム ： 増収・増益

電力関連のシステム利用料の増加等により売上高が増加。利益も前年同期を上回る。

下期の見通し

下期は、暖冬予想に伴う灯油・ガスの使用量の減少に加え、ガスの仕入価格の上昇や電力小売の競争環境などの影響を見込んでいます。
石油・ガスは、採算を重視した販売を継続し、収益の確保に努めます。 システムは、利用件数の拡大に取り組みます。

© 2026 Shinanen Holdings Co., ltd.

メンテナンス事業の増益が寄与する一方、モビリティ事業は収益性低下と運営コスト増加により減益

メンテナンス事業 ビルメンテナンス・ホームファシリティが増収増益を牽引

売上高	営業利益
59.5億円	2.1億円
前年同期比 ＋8.6億円	前年同期比 ＋0.8億円

上期の事業別動向

居住用建物メンテナンス	施工案件数は前年同期並み。部材価格・施工費用の上昇に対する価格転嫁が追いつかず、総利益率が低下。
ビルメンテナンス	病院等の新規受託と既存案件の安定稼働により増収増益。
ホームファシリティ	太陽光発電システムの点検案件が寄与し、住宅設備関連商品の販売増と合わせて増収増益。
不動産	管理戸数は増加した一方、前年の工事・紹介料収入等の反動により減収。

下期の見通し

- 2～3月の需要期に向け、原状回復工事・設備交換案件の獲得に注力。
- 部材・施工費用や人件費の上昇を踏まえ、適切な価格転嫁を継続。
- ビルメンテナンスの新規受託と、太陽光関連の施工・点検案件の積み上げを推進。

モビリティ事業 売上高は前年同期を上回る一方、減益

売上高	営業利益
37.1億円	0.6億円
前年同期比 ＋0.4億円	前年同期比 ▲1.5億円

上期の事業別動向

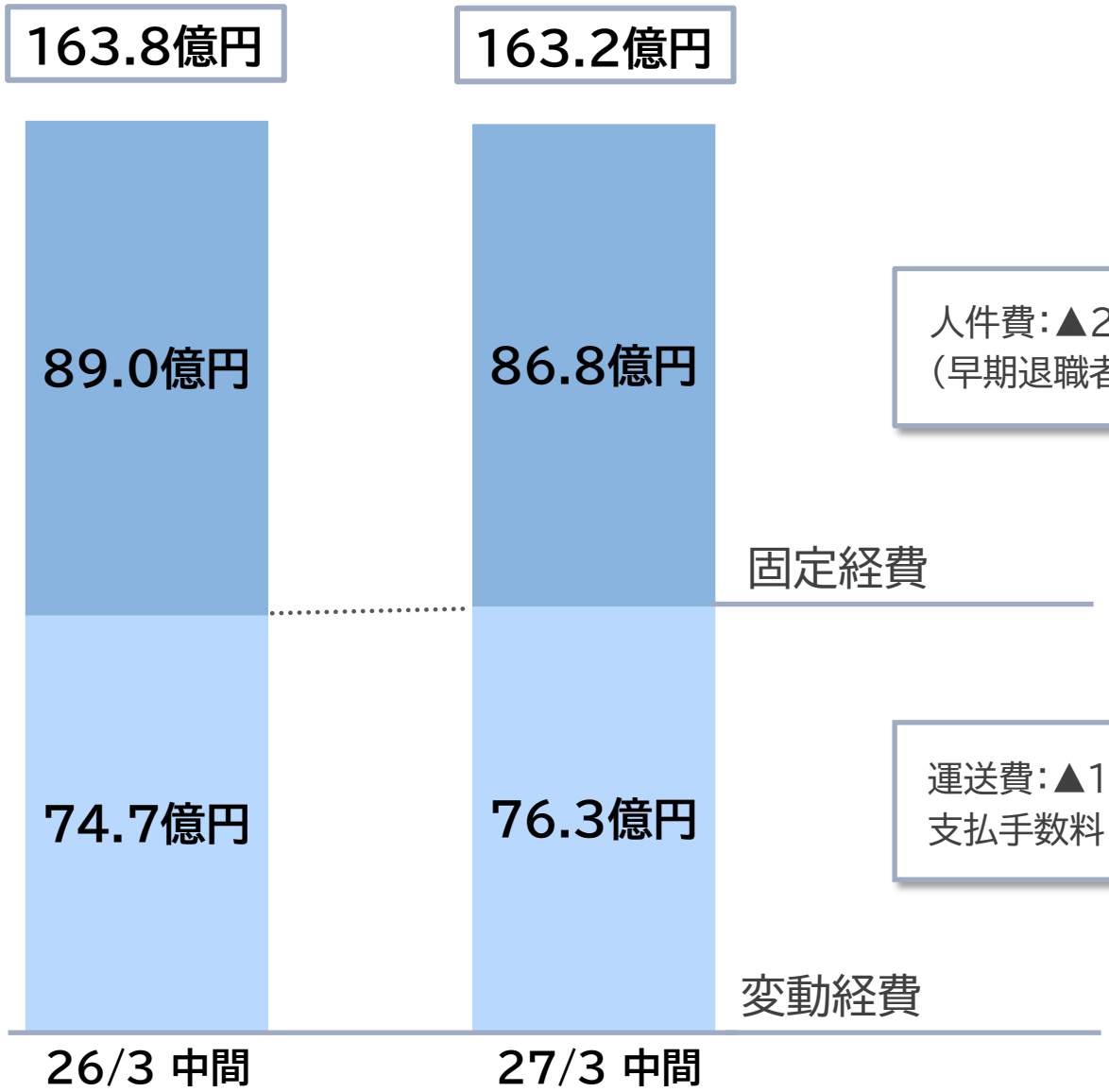
自転車	卸売は伸長した一方、天候要因等により小売販売は低調に推移。在庫適正化に向けた値下げ販売により、総利益率が低下。
シェアサイクル	降雨等による利用の伸び悩みに加え、ステーション賃料の上昇や、利用減少下でも継続する運営費負担が利益を圧迫。自転車のメンテナンスは伸長したものの、オープン型サービスの減収と運営コスト増加を補うには至らず。

下期の見通し

- 在庫・発注管理と商品構成の適正化を進め、総利益率の向上を図る。
- シェアサイクルの車両運用を見直し、利用頻度・1台当たり売上の向上を図る。
- 運営コストの上昇を踏まえ、利用料金の見直しを推進。

© 2026 Shinanen Holdings Co., ltd.

01 販売費及び一般管理費：増減要因



人件費：▲2.6億円
（早期退職者優遇制度の影響）

運送費：▲1.7億円（販売数量減に伴う）
支払手数料：＋3.0億円（業務委託費等）

© 2026 Shinanen Holdings Co., ltd.

01 2027年3月期 中間期 連結貸借対照表：増減要因

26/3期 期末

総資産 1,080億円

（単位：億円）



27/3期 中間

総資産 986億円

（単位：億円）



主な変動要因

資産

季節要因による売上債権減少
（▲97億円）

負債

季節要因による仕入債務減少
（▲53億円）

© 2026 Shinanen Holdings Co., ltd.

成長投資と株主還元の実行状況

Cash In
38.8億円
＋
現預金の活用
48.5億円
87.3億円

- 営業キャッシュフロー 34.7億円
- 子会社株式売却・固定資産売却 4.0億円
- ＋
- 現預金の活用 48.5億円

Cash Out　87.3億円

成長投資（設備更新含む） 25.3億円	エネルギー	13.2億円
	メンテナンス	9.5億円
	モビリティ	2.6億円
株主還元 21.4億円	配当	13.0億円
	自己株式取得	8.4億円
財務運用（有価証券投資）		35.6億円
その他		5.0億円

成長投資（含.設備更新）内訳

■ エネルギー事業

M&A	：5.0億円
都市ガス供給設備	：1.0億円
太陽光発電設備	：0.9億円
システム関連投資	：1.5億円
その他（設備更新）	：4.8億円

■ メンテナンス事業

M&A	：5.7億円
不動産投資	：3.8億円

■ モビリティ事業

シェアサイクル関連設備：2.6億円

© 2026 Shinanen Holdings Co., ltd.

01 2027年3月期 中間期　連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：億円）		25/9実績	26/9実績	YoY（額）
営業活動によるキャッシュ・フロー		30.9	**34.7**	+3.8
増減要因	キャッシュ増加		税金等調整前中間純利益の増加	+10.1
	キャッシュ減少		法人税等の支払額の増加	▲9.9
投資活動によるキャッシュ・フロー		▲7.5	**▲58.6**	▲51.1
増減要因	キャッシュ増加	シナネンファシリティーズ株式売却に伴う増加		+3.9
	キャッシュ減少	財務運用（債券・株式）による投資有価証券支出 M&Aによる株式取得		▲34.6 ▲10.2
財務活動によるキャッシュ・フロー		▲33.1	**▲24.6**	+8.5
増減要因	キャッシュ増加		短期借入金返済の減少による増加	+20.0
	キャッシュ減少		自己株式の取得による支出増加 配当金の増配による支出増加	▲8.4 ▲3.2
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）		▲9.7	**▲48.9**	▲39.2
現金及び現金同等物の期首残高		117.0	**166.7**	+49.7
現金及び現金同等物の期末残高		107.2	**117.7**	+10.5

© 2026 Shinanen Holdings Co., ltd.

02

通期業績予想

© 2026 Shinanen Holdings Co., ltd.

増収増益を見込む

金額は2026年5月14日開示資料

（単位：億円）	26/3 実績	27/3 予想	YoY （額）
売上高	2,987	3,345	+357
営業利益	44	64	+19
経常利益	53	66	+12
親会社株主に帰属する当期純利益	44	52	+7

エネルギー事業　＋9億円

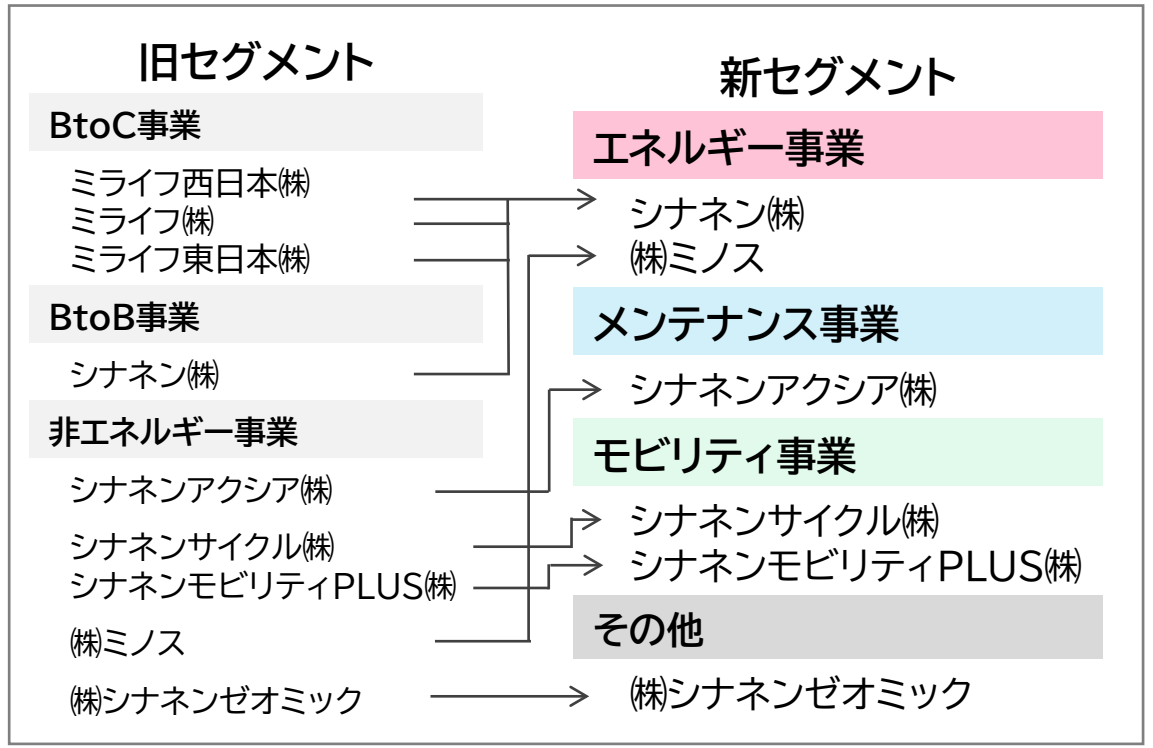
・リテールサービスの推進（顧客拡大）、コストコントロール

メンテナンス事業　＋5億円

・集合住宅のメンテナンス業務のエリア拡大、利益率の改善

モビリティ事業　＋7億円

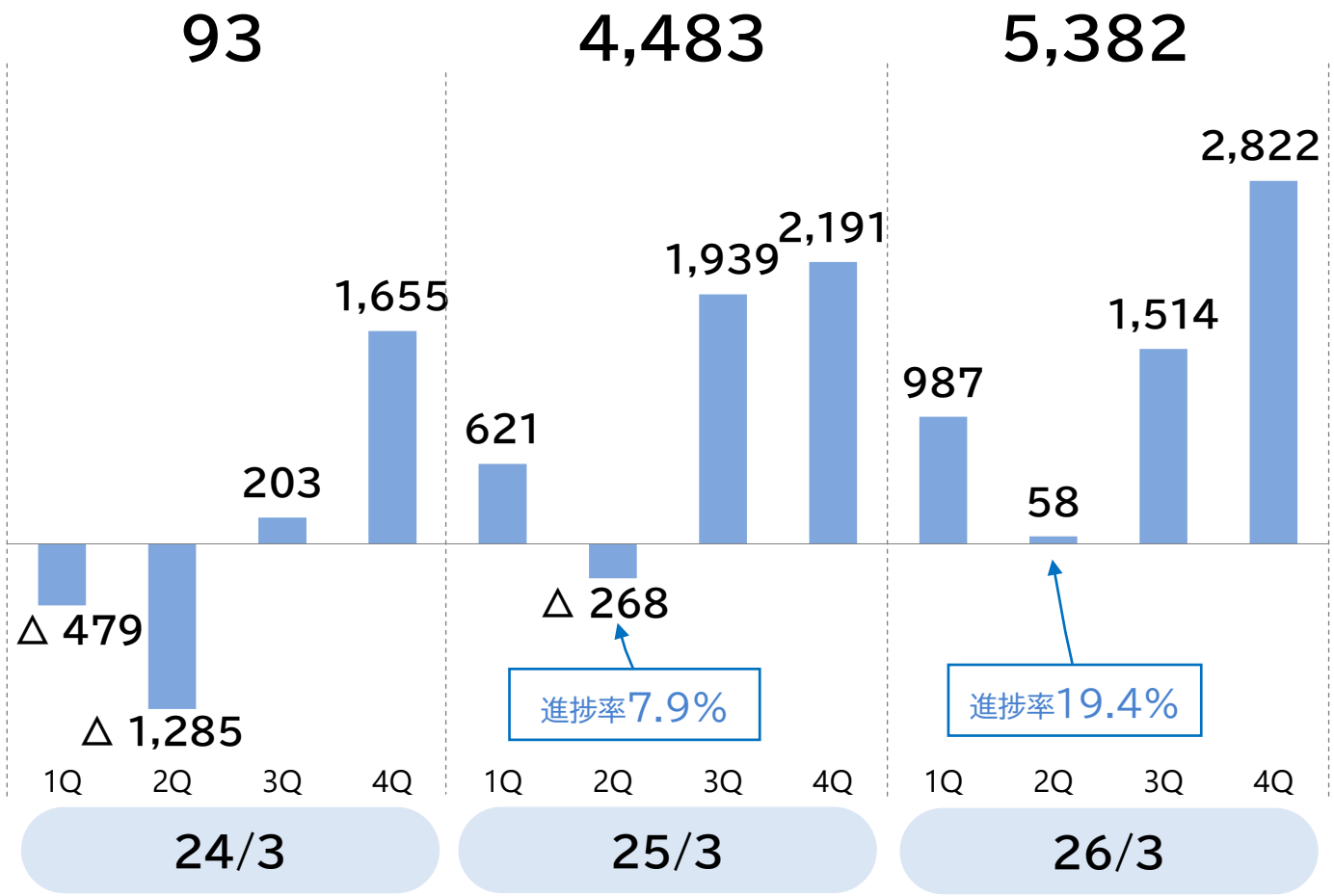
・運営品質の高度化と収益性の高いエリア展開を加速



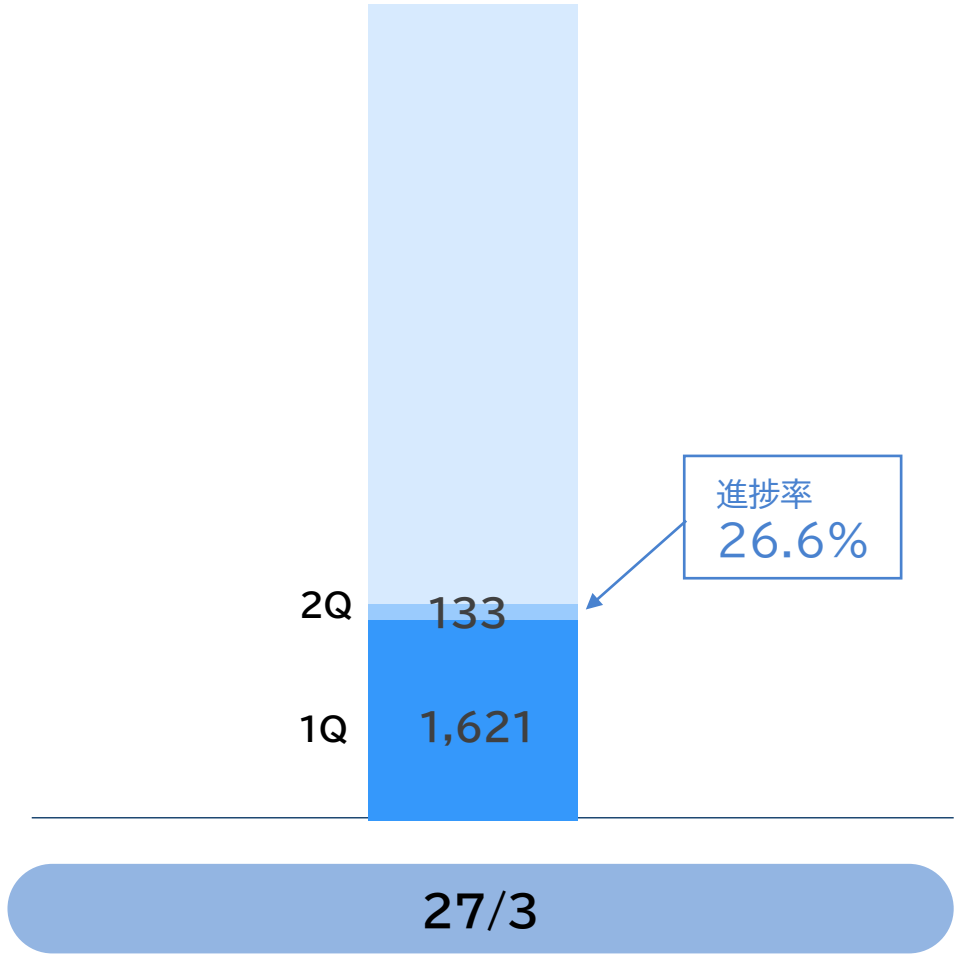
 © 2026 Shinanen Holdings Co., ltd.

下期偏重の収益構造であるものの、順調に推移

単位：百万円　　※端数処理後の数値で算出

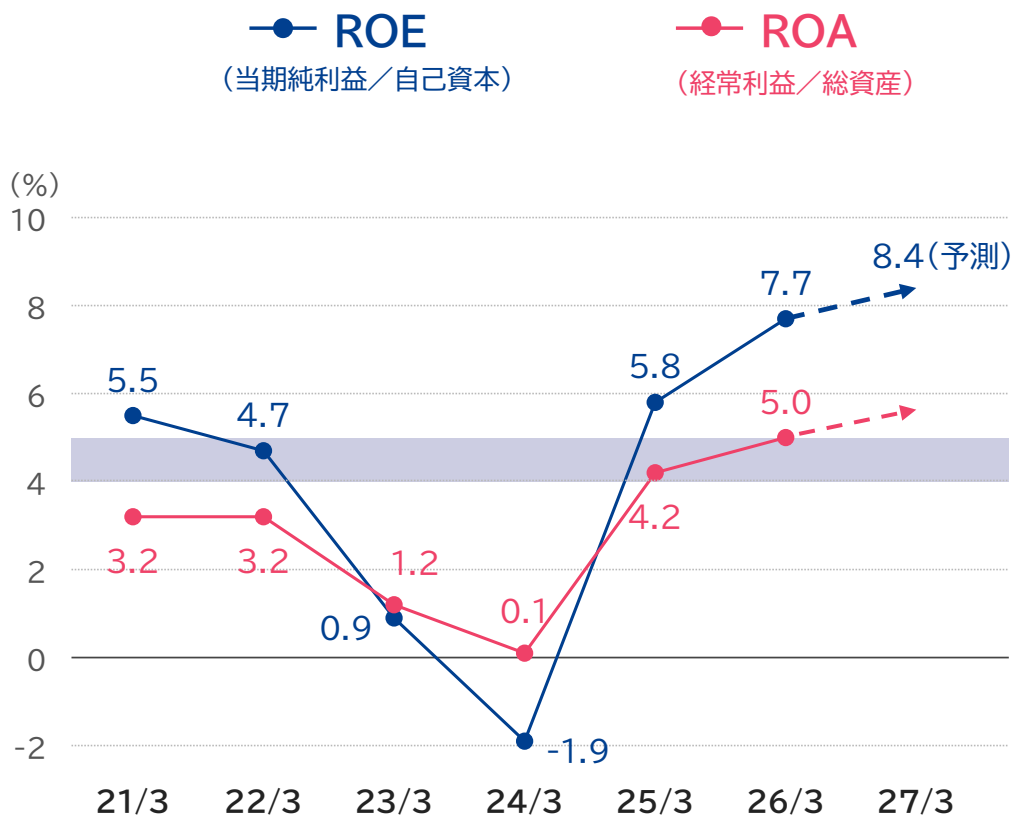


業績予想（期初開示時）　6,600



 © 2026 Shinanen Holdings Co., ltd.

資産効率と収益力の改善により、ROEは前期7.7%まで向上
2027年3月期は8.4%を見込み、中期経営計画目標を上回る見通し



■ ROE向上の考え方

ROA
利益率の向上
資産の有効活用

×

財務レバレッジ
適切な財務構成

＝

ROE
2027年3月期予想
8.4%以上

■ 資産効率と収益力の両面からROAを向上

1. **資産効率の改善**　固定資産の見直しを起点に、現預金、売掛金、在庫等を含む資産全体の効率化を推進
2. **収益力の改善**　主力事業の収益改善に加え、事業ポートフォリオの見直しを推進
3. **資産の有効活用**　資産の見直し等により創出したキャッシュを、成長投資と株主還元へ配分

第三次中期経営計画で進めてきた資産効率と収益力の改善を継続し、ROA・ROEの持続的な向上を図る

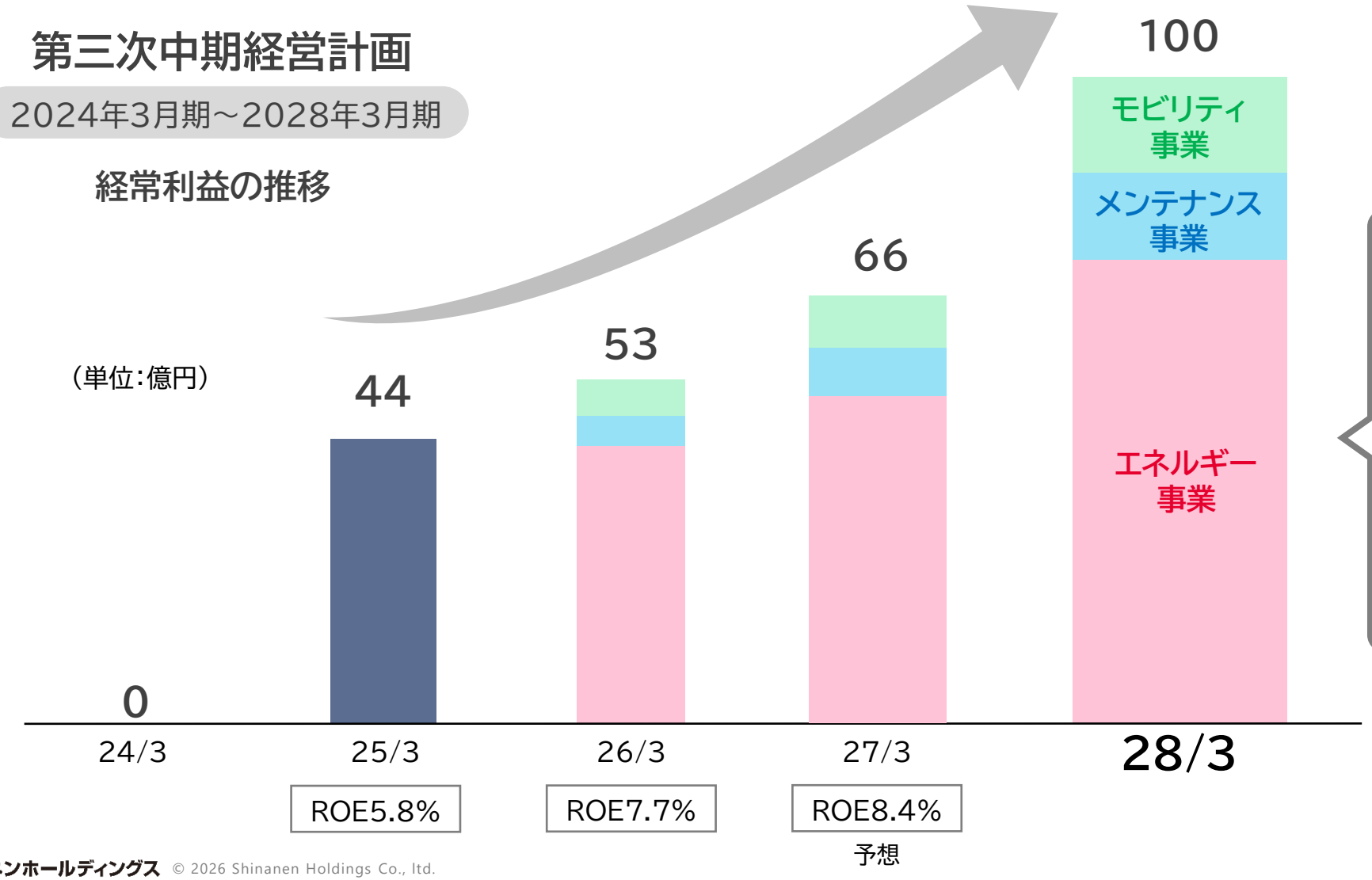
© 2026 Shinanen Holdings Co., ltd.

創業100周年に向けて更なる飛躍・躍進

第三次中期経営計画

2024年3月期～2028年3月期

経常利益の推移



2028年3月期 財務目標

ROE
8%以上

経常利益
100億円

© 2026 Shinanen Holdings Co., ltd.

エネルギー供給を基盤に顧客接点と提供サービスを拡大し、地域を支えるサービス会社へ進化

新生シナネン2030＋ 数値計画
（2026年4月～2028年3月）

施策

総顧客増加数　20万件
- 提供サービスラインナップの増加（ハウスクリーニング、灯油、ガス、電力、水、住宅設備修理サポートなど）
- 提案顧客の拡大（地域企業、企業内従業員）
- アライアンスの強化など

1拠点増加ストック収益　30百万円
- カタログ・アウトバンドコールによるクロスセルの強化
- エネルギーベストミックス・グループ商材提案によるクロスセルの強化
- 新サービス開発（アライアンス含む）によるクロスセル商材の増加など

＋
- 2030年以降を見据えた目標設計
- 地域・顧客に＋αの付加価値を提供

顧客基盤の捉え方を転換

LPガス顧客 約20万件 → 総サービス利用顧客 **40万件**

LPガスに限定せず、石油・電力・住宅・建物関連など、あらゆるサービスを顧客接点として捉える

今後の重点施策

01	顧客接点を拡大	サービスラインナップの拡充、地域企業・企業内従業員への提案、アライアンス強化
02	クロスセルを強化	カタログ・アウトバウンドコール、エネルギーベストミックス、グループ商材提案
03	新サービスを創出	アライアンスを含む新サービス開発により、クロスセル商材を拡充

2028年3月期末目標

総サービス利用顧客数

40万件

2026年4月から2年間で＋20万件

法人向けサービス

1拠点当たり

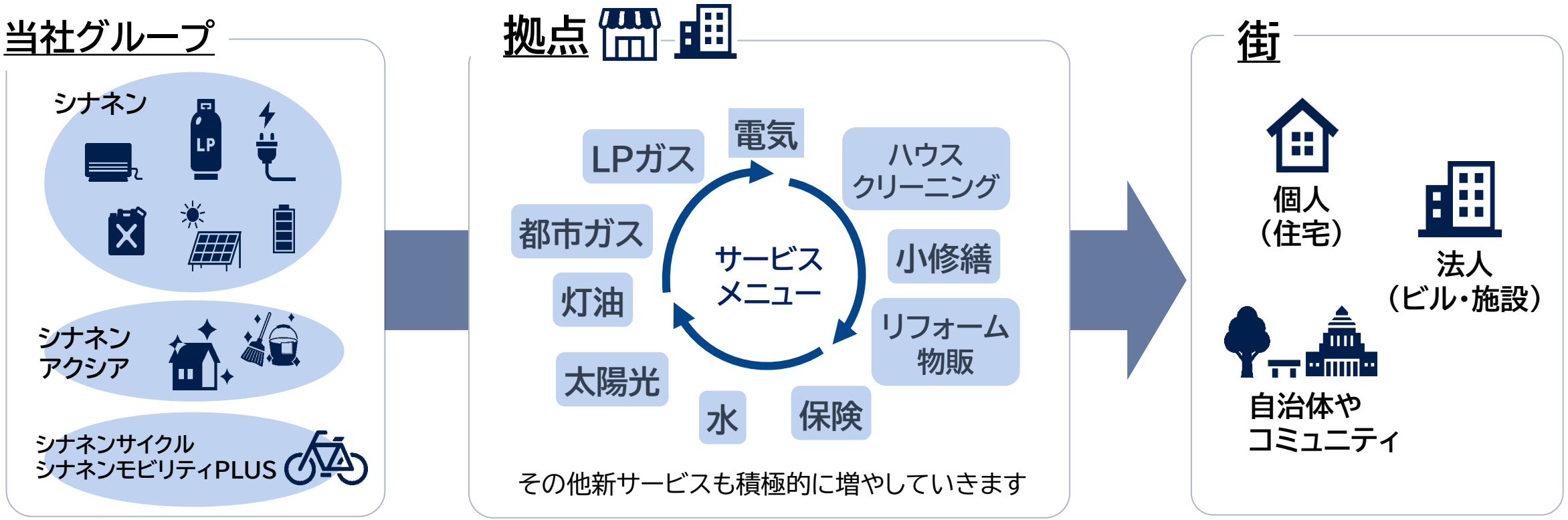
ストック収益＋30百万円

顧客接点を起点に複数サービスへ展開

「エネルギーを提供する会社」から「地域の暮らしと建物を支えるサービス会社」へ

© 2026 Shinanen Holdings Co., ltd.

グループ各社がそれぞれ提供していたサービスメニューを結集し、拠点を通じて街全体へ提供
顧客ニーズに応えるサービスを提案し、地域密着で推進



 © 2026 Shinanen Holdings Co., ltd.

2027年3月期は「顧客拡大」を最重要課題とし、3つの施策で利益6億円の創出を目指す

■「稼ぐ力」を強化する重点項目

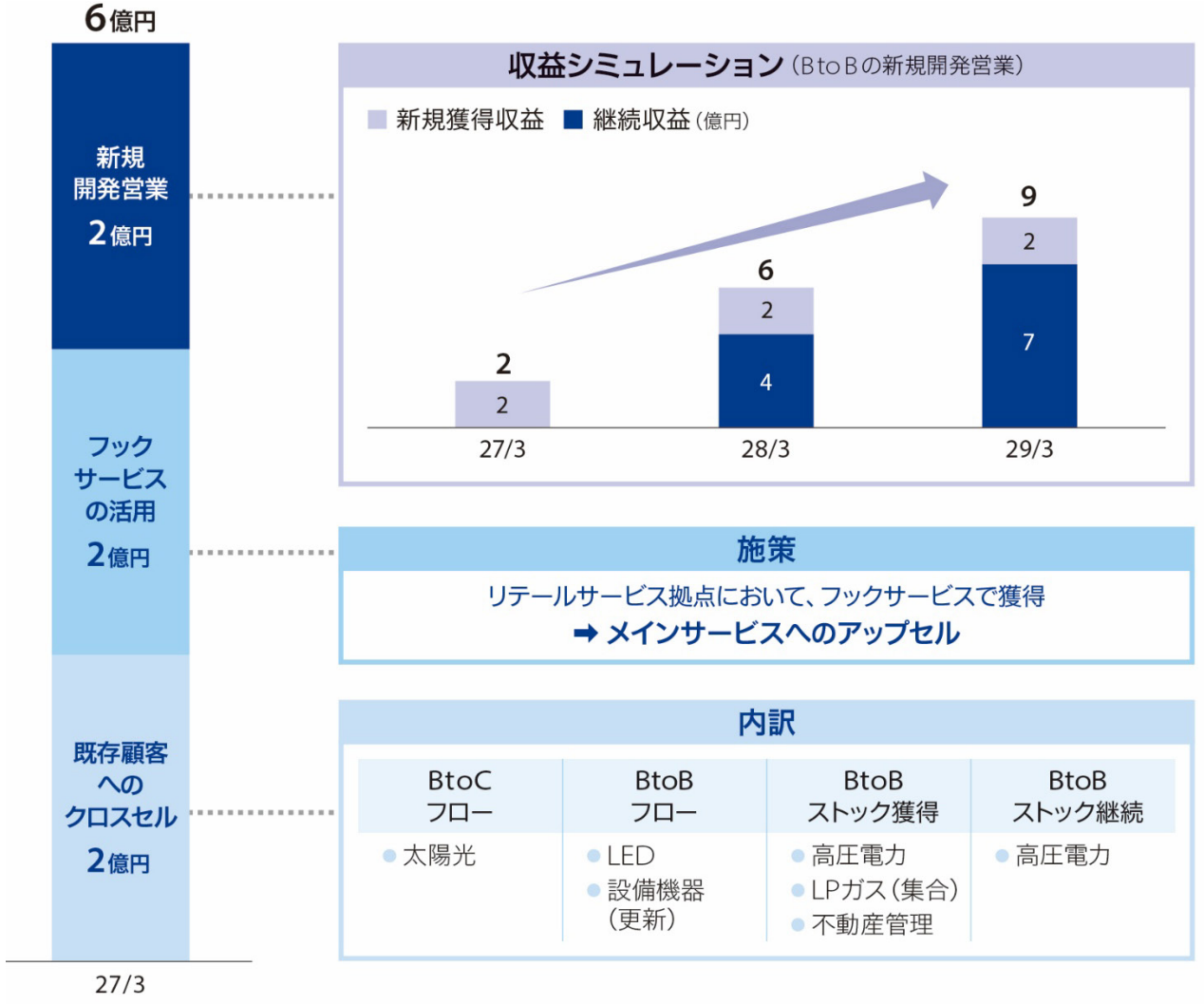
サービス拡充	**顧客拡大**
暮らし・建物関連へ	クロスセル・新規開拓
ブランド強化	**競争力強化**
地域との接点・信頼	グループ横断の提案力

■重点項目の推進を支える生産性の向上

業務プロセスの効率化
DX・業務データの活用により定型業務を効率化し、重点項目を推進するための営業活動時間を創出

顧客対応体制の強化
カスタマーセンターの体制を強化し、顧客ニーズの把握と営業担当者への連携を促進

重点項目の実行力向上
営業担当者が提案活動に注力できる環境を整え、顧客接点の拡大とクロスセル・新規開拓を加速

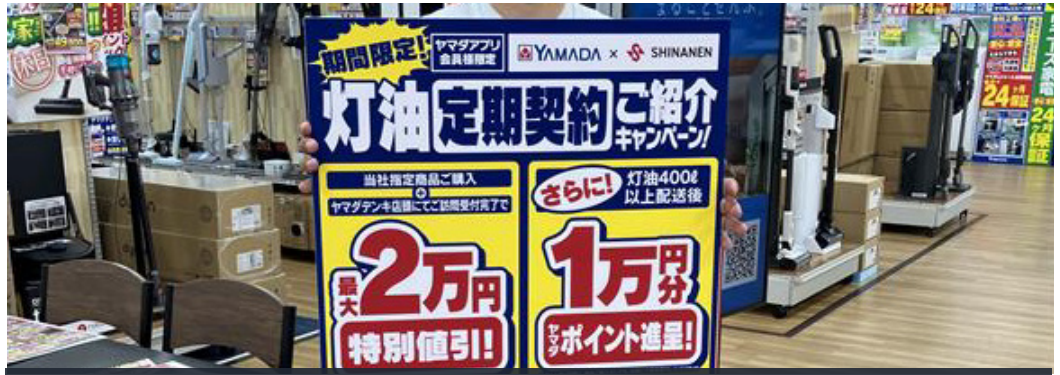


 © 2026 Shinanen Holdings Co., ltd.

エネルギー事業

ヤマダデンキとの灯油拡販プロジェクトを開始

異業種との連携で、灯油販売と地域サービスの顧客接点を拡大



北海道内の店舗で店頭イベントを実施し、灯油・生活関連サービスを提案

22店舗	18店舗	54件
北海道内で展開	初回イベントを実施	一次申込を獲得

2026年9月19日に開始し、2027年3月まで実施。
灯油販売を起点に、緊急駆けつけ・設備点検等の生活関連サービスも提案。

※一次申込54件は2026年10月31日時点。

モビリティ事業

JR内房線の交通支援へ「ダイチャリ」車両を提供

災害時の代替交通として、地域の移動手段確保に貢献



姉ケ崎駅・長浦駅間の移動をシェアサイクルで支援

150台	12時間	3機能
ダイチャリ専用車両を提供	まで利用料金無料	車両・運営・保守で支援

2026年10月14日から、JR内房線の運休期間中に実施。
車両提供に加え、サービス運営管理・メンテナンスを担当。

© 2026 Shinanen Holdings Co., ltd.

03

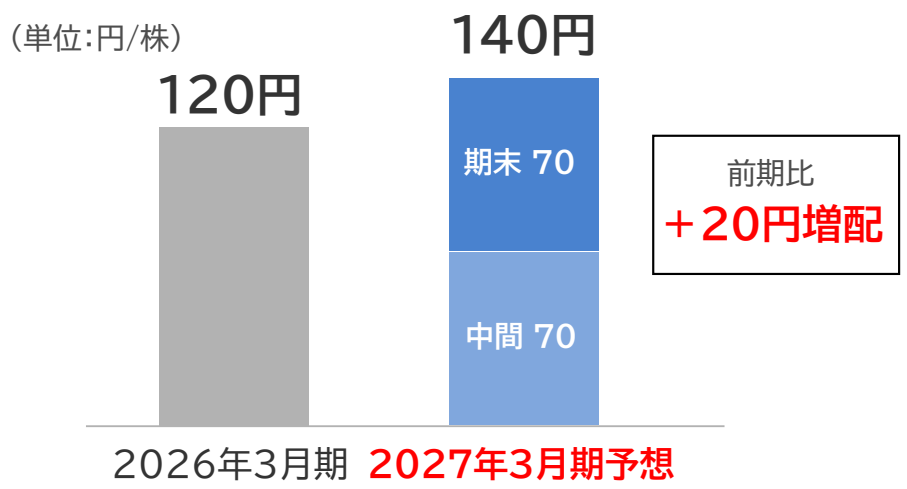
株主還元

© 2026 Shinanen Holdings Co., ltd.

2027年3月期より中間配当を開始

累進配当・総還元性向40%以上を軸とした株主還元を推進
2027年3月期より中間配当を開始し、自己株式取得と組み合わせた総還元を実施

1株当たり年間配当金の推移



2027年3月期の株主還元

1. 配当
年間配当予想 140円（中間:70円 / 期末予想:70円）

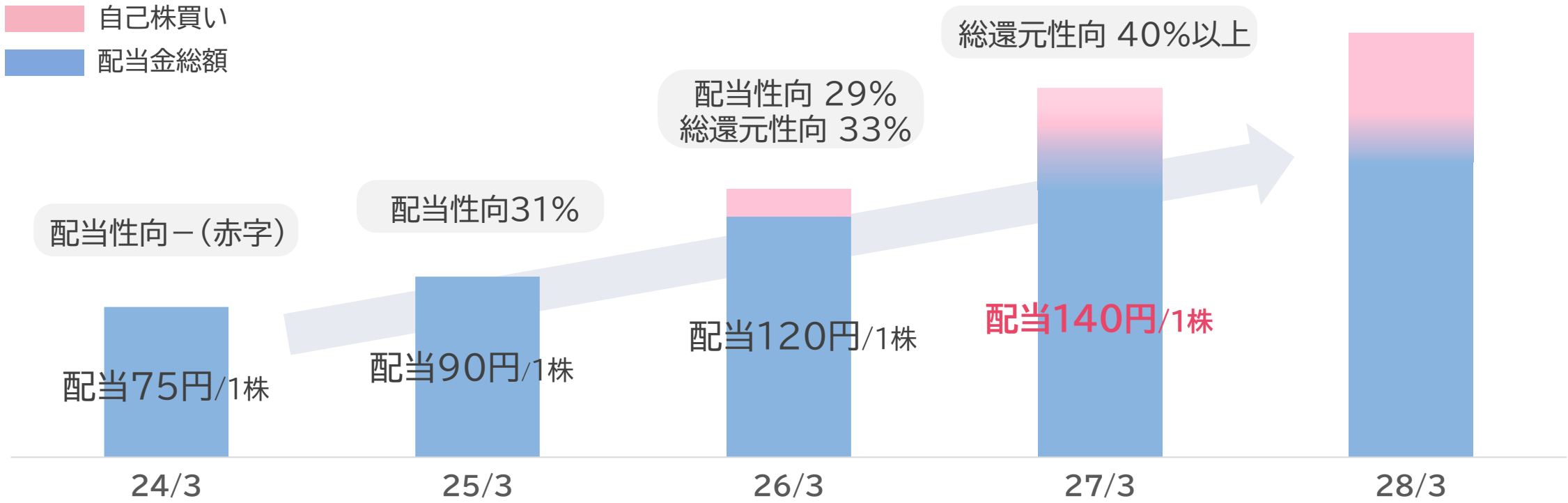
2. 自己株式取得
2026年4月から8月までの取得額:約8.4億円

3. 総還元性向
40%以上を目安

10月30日公表の適時開示の通り、持続的な成長に向けた投資と財務健全性の確保を前提に、累進配当及び総還元性向40%以上を目安として、安定的・継続的な株主還元の充実を図ります。

© 2026 Shinanen Holdings Co., ltd.

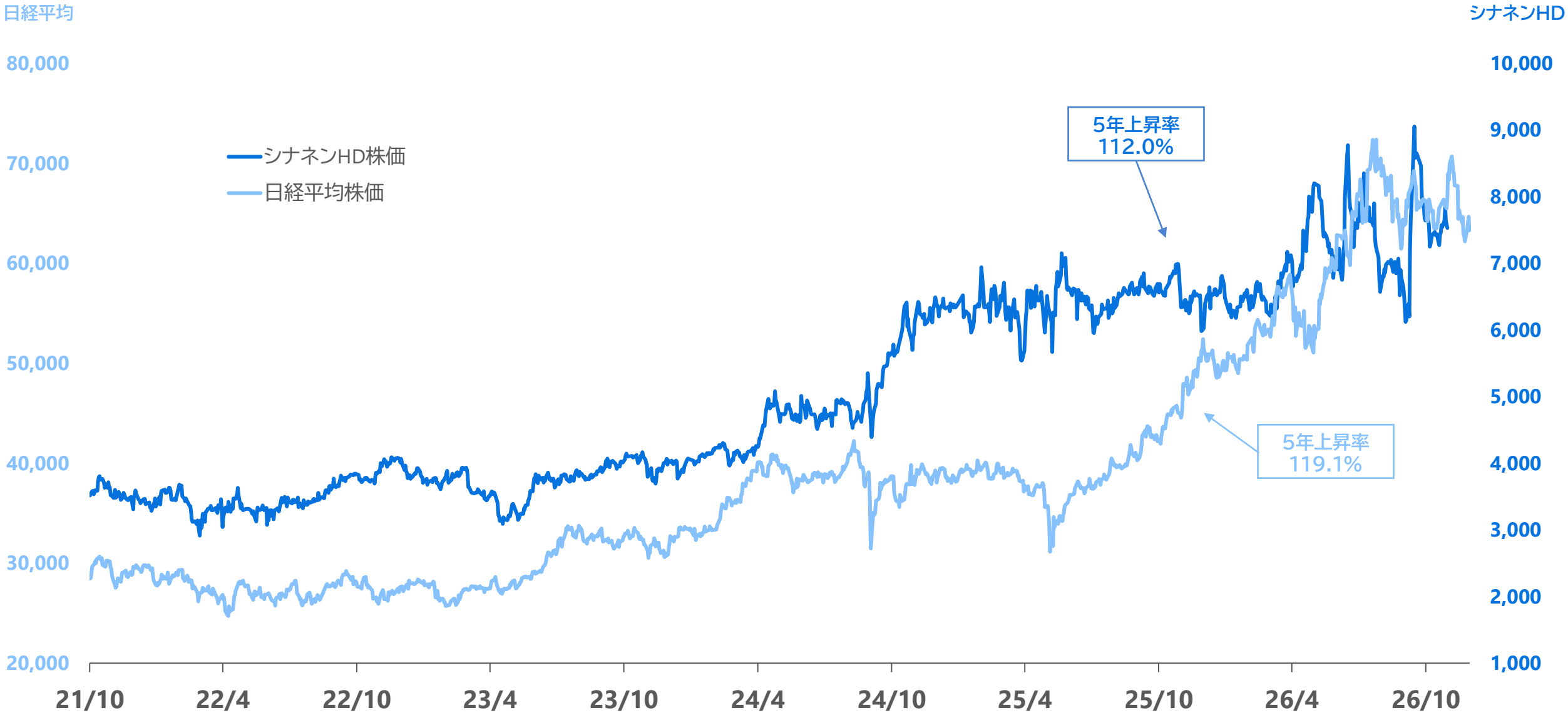
03 株主還元策の拡充



24/3	25/3	26/3	27/3	28/3
株価 ：4,920円 PER：— PBR：1.0倍	株価 ：5,960円 PER：20.6倍 PBR：1.2倍	株価 ：7,770円 PER：19.1倍 PBR：1.4倍	予測	予測

© 2026 Shinanen Holdings Co., ltd.

03 株価推移



© 2026 Shinanen Holdings Co., ltd.

04 Appendix

© 2026 Shinanen Holdings Co., ltd.

04 連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

科目	2026/3	2026/9	増減
流動資産	**62,685**	**48,365**	**▲14,320**
現金及び預金	16,871	11,973	▲4,897
受取手形、売掛金及び契約資産	35,644	25,944	▲9,700
商品及び製品	6,143	5,873	▲269
仕掛品	480	660	+180
原材料及び貯蔵品	35	50	+15
その他	3,566	3,895	+329
貸倒引当金	▲55	▲31	+23
固定資産	**45,397**	**50,315**	**+4,918**
有形固定資産	25,952	26,045	+92
無形固定資産	2,027	2,000	▲26
投資その他の資産	17,417	22,269	+4,852
資産合計	**108,083**	**98,681**	**▲9,401**

科目	2026/3	2026/9	増減
負債	**47,958**	**39,197**	**▲8,760**
流動負債	40,638	32,524	▲8,114
固定負債	7,319	6,673	▲645
純資産	**60,124**	**59,483**	**▲641**
株主資本	55,801	55,321	▲479
資本金	15,630	15,630	－
資本剰余金	7,732	7,535	▲196
利益剰余金	33,019	32,996	▲22
自己株式	▲580	▲840	▲259
その他の包括利益累計額	4,299	4,137	▲161
非支配株主持分	24	24	▲0
負債純資産合計	**108,083**	**98,681**	**▲9,401**

© 2026 Shinanen Holdings Co., ltd.

04 連結損益計算書（要約）

（単位：百万円、%）

	26/3期 中間	売上高比	27/3期 中間	売上高比	増減額
売上高	**120,421**	**100.0**	**164,422**	**100.0**	**+44,001**
売上原価	103,342	85.8	146,773	89.3	+43,430
売上総利益	**17,079**	**14.2**	**17,649**	**10.7**	**+570**
販売費及び一般管理費	16,383	13.6	16,326	9.9	▲57
営業利益	**695**	**0.6**	**1,323**	**0.8**	**+628**
営業外収益	484	0.4	509	0.3	+25
営業外費用	133	0.1	77	0.0	▲55
経常利益	**1,046**	**0.9**	**1,755**	**1.1**	**+709**
特別利益	40	0.0	428	0.3	+388
特別損失	47	0.0	132	0.1	+85
税引前利益	1,039	0.9	2,051	1.2	+1,011
法人税等	606	0.5	771	0.5	+165
非支配株主に帰属する中間期純損益	▲4	▲0.0	▲0	▲0.0	+3
親会社株主に帰属する中間期純利益	**437**	**0.4**	**1,279**	**0.8**	**+842**

© 2026 Shinanen Holdings Co., ltd.

エネルギー事業

シナネン㈱
㈱ミノス

個人のお客様向けサービス
- 灯油、ガス、電力
- ハウスメンテナンス・クリーニング・リフォーム・リノベーション
- シナネンあんしんプラス（住宅設備修理サポート）

法人のお客様向けサービス
- 石油類・ガス（国内石油・ガス販売/輸送、灯油宅配・BCP支援、SS運営支援、船舶向け燃料等）
- 電力
- 再生可能エネルギー・太陽光発電
- ガス・電力等管理システム開発・販売





メンテナンス事業

シナネンアクシア㈱

- 居住用建物メンテナンス
- ビルメンテナンス
- 病院施設運営
- 斎場運営業務
- 不動産総合管理
- ホームファシリティ





モビリティ事業

シナネンサイクル㈱
シナネンモビリティPLUS㈱

- 自転車卸・小売、短距離モビリティの企画開発
- シェアサイクルサービス・レンタル





 © 2026 Shinanen Holdings Co., ltd.

創業99年のエネルギー事業(石油・ガス・電力の販売等)を中心とするグループ企業

会社名	シナネンホールディングス㈱（東証プライム8132）
所在地	東京都品川区東品川一丁目39番20号
代表者	代表取締役　社長執行役員　中込　太郎
資本金	156億3,000万円
創業	1927年4月11日　創業99年
従業員数	3,597名(連結:臨時従業員含む)
グループ会社	連結子会社25社、持分法適用会社6社
事業内容	エネルギーと暮らしの両面から安心と快適をお届けする企業グループ エネルギー事業：　石油・ガス・電力の販売等 メンテナンス事業：オフィスビル、集合住宅、病院の運営管理・メンテナンス モビリティ事業：自転車卸・小売、短距離モビリティの企画開発、シェアサイクル

2026年9月30日現在

© 2026 Shinanen Holdings Co., ltd.

- 本資料にはシナネンホールディングス㈱（以下、当社）の計画、方針、経営戦略等といった、将来に関する記述があります。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づく予測、計画等を基礎として作成しているものであり、不確定要素を多く含んでいます。従いまして、様々なリスクや変動要因により、実際には本資料の記述と大きく異なる結果となる可能性があります。

- 実際に投資を行う際には、本資料の情報のみによる投資判断はお控えいただき、投資に関する判断は皆様ご自身で行うようお願いいたします。投資に関して生じたいかなる損失に対し当社が責任を負うものではありません。

本資料に関するお問い合わせ

シナネンホールディングス㈱
財務経理部　経理・IRチーム
ir@sinanengroup.co.jp

統合報告書2026を9月30日に発行しました

https://sinanengroup.co.jp/ir/library/annual/



 © 2026 Shinanen Holdings Co., ltd.